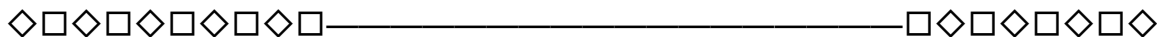


【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No. 59
このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。



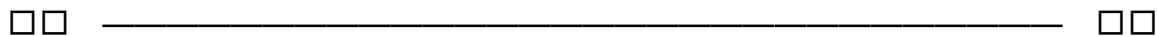
◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2022-8-1 No. 59



リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

- ・リバティ…Liberty(自由)
- ・パブ…Publication(出版)とPublic House(公共の場)、PUB(大衆酒場)を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。リバティ・パブと一緒にこの文化を広めていきましょう。



こんにちは！日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。

6月の中旬、朝顔の苗をいただいて育てていましたが、つい先日、フチの白い見目麗しい朝顔が開花しました。

さて、ここで問題です。朝顔の花びらは何枚かご存知ですか？
くるりと一続きになっているから1枚？
と思いきや生物学的にはいわゆる合弁花で花弁は5枚だそうです。

朝顔は夏休みの自由研究にはピッタリの題材、そして夏の風物詩としても外せない植物ですね。しばらく毎朝咲く朝顔が楽しみです。

それでは、「リバティ・パブ」No.59をお届けいたします。

◆◆◆◆◆ CONTENTS ◆◆◆◆◆

1. ニュース ……文化賞2次選考会に22人が参加
2. ニュース ……認定アドバイザー試験28人中17人がJSN以外
3. ニュース ……色川前選考委員長のシンポジウムに成田氏が基調講演
5. 自費出版事情… ~会員便り~No.56

☆ 知っとこ旭川 その 3



□□ _____ □□

1. ニュース … 文化賞2次選考会に22人が参加

□□ _____ □□

第25回日本自費出版文化賞の第2次選考会が7月16日（土）ジャグラ本部とJSNの事務局が入る東京小伝馬町のニッケイビルにて開催されました。当日は仙台から倉敷や松山までの22人が参加し、7部門計75作品が最終選考委員に送られました。

また、今回参加した2次選考委員の約6割が各部門で高い評価を得た過去入賞者で約4割が自費出版事業者でした。初めて入賞経験者が自費出版事業者を上回った2次選考会となりました。

□□ _____ □□

2. ニュース … 認定アドバイザー試験28人中17人がJSN以外

□□ _____ □□

NPO認定自費出版アドバイザー試験（2級1級）が例年通り8月から実施されます。あまり宣伝をしていませんが2級試験は27人（昨年20人）の受験者で、その内16人がJSN（NPO法人日本自費出版ネットワーク）以外です。1級は1人（昨年5人）ですがその方もJSN以外の方です。日本で唯一の自費出版アドバイザーを認定する制度ですが、外部の人にも認知されつつあるようで、受験者の広がりが感じられます。

□□ _____ □□

3. ニュース…色川前選考委員長のシンポジウムに成田氏が基調講演

□□ _____ □□

日本自費出版文化賞の前選考委員長の色川大吉さんの業績を偲ぶ「歴史家・色川大吉の全体像～多摩に生き、日本を問うた生涯～」シンポジウムが7月23日に東京経済大学で開催されました。オンラインで視聴された方もいると思いますが、基調講演は日本自費出版文化賞の最終選考委員でもある歴史学者・日本女子大学名誉教授の成田龍一さん。成田さんは講演の中で色川さんが長い間自費出版文化も支えてきたことにも触れて、一貫して「民衆史」を研究してきた故人の幅広い活動を伝えていました。

□□ _____ □□

5. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.56

□□ _____ □□

ライティング株式会社の代表取締役高木伸浩と申します。当社は、執筆代行サービスを主業務としています。いわゆるゴーストライター業務です。自伝、ビジネス書、学術書などが得意分野となります。たとえば、自伝などでは、1日3時間×3日間ほどの取材をさせていただき一冊の本の分量を作成します。ご高齢、文章に自信がない、などの理由で執筆できない方になりかわるサービスであり、一種の社会貢献だという思いで、事業の展開をすすめています。

このたび自費出版ネットワークに参加させていただいた第一の理由は、アドバイザーの資格取得により、お客様に安心感をもっていただくことです。第二は、同業のみなさまから、仲間としてご信頼いただきたいということです。執筆代行の依頼も喜んでお引き受けいたします。

本社は京都です。法人化してからはや15年が経ちます。文章執筆に悩むお客様をサポートするという経営理念のもと、一生懸命がんばらせていただきます。

ライティング株式会社
高木 伸浩

□□ _____ □□

☆ 知っとこ旭川 その3

□□ _____ □□

前回は各駅新幹線に乗ってしまい遅刻したお話でしたが、行ってみなければ分からないことは多いものです。この失敗話をしたら、昔は品川も停まらなかったという方もいらっしゃいました。

そうこうしていると、ANA旭川—名古屋便が7月から復活しました。早く安く移動できます。以前に名古屋に行ったときは中部国際空港からミュウなんとかに乗って、人だらけの名古屋駅に着いたのです。このときも特急とで戸惑った記憶があります。

さて、メルマガが他人の目に触れるかもしれないと思うと、ちょっとまじめに旭川を紹介します。北海道の真ん中に位置しますが、大雪山系のふもとの盆地です。海はありません。盆地なので、夏は暑く、冬は冷え込んだりと、その差は優に50度はあります。暑い日も寒い日もそう長くはないので、それ以外は実にはすがすがしい気候です。大雪山系から流れてくる川はこの盆地を通過して、札幌を中心とする石狩平野、石狩湾にまで達します。

7月下旬は一番暑いときで、ラベンダー畑が見頃ですが、観光客は東京より暑いとクレーム。けれど、朝晩はめっきり涼しく、気持ちのいいものです。この原稿を書いている7月25日からようやく最高気温が30度になるとの予報です。朝から25度などという本州の大都会は住む所じゃないと私は思っています。（昼でもマイナス10度という土地は住むとこじゃないとおっしゃるかもしれませんが）

そうこうしているうちにお盆を過ぎるとめっきり涼しくなります。9月には大雪山系黒岳で日本一早い紅葉が始まります。紅葉と言っても「もみじ」ではなく、白樺（ダケカンバ）、花楸樹（ウラジロナナカマド）があざやかに変身していきます。10月になるとそれらの登山道は閉鎖され、ヒグマの天国になります。

こんな気候の元で明治に入植した方は平地と水に恵まれていたとはいえ、言うに言えない苦勞をしたものだと思いますが、開拓した土地は水利を得て大稲作地帯となっています。飛行機から見ると、田んぼの大きさ広さに驚くことでしょう。水田も大規模化され、機械化してきています。

こうして北海道の真ん中、流通の拠点として発達した旭川市ですが今や人口33万人を切り、周辺8町を加えても40万人に達しません。そしてその向こうは東西南北どこに行くにも峠を越えなければいけないのです。

株式会社あいわプリント 渡辺辰美

★あとがき

ライティング株式会社さん、ゴーストライターという職業は知っていましたが、そのプロ集団の会社が我々会員メンバーの中にあることを改めて知りました。ゴーストライターという言葉だけを聞くと、あまり良いイメージではありませんでしたが、実はこの自費出版ネットワークでは心強い存在ですね。

ANA旭川-名古屋便が復活！名古屋人の私には朗報です。どうか来年5月まで運行されていますように。

向暑の折、皆さまコロナにも熱中症にもどうぞお気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473

<http://www.jsjapan.net/>
